

## 志賀 健司<sup>1</sup>：北海道石狩浜へのカツオノカンムリの漂着 Kenji SHIGA<sup>1</sup>：Stranding of *Verella verella* on Ishikari Beach, Hokkaido.

カツオノカンムリ *Verella verella* (Linnaeus, 1758) は、ギンカクラゲ科に属する水表生物で、長径3~5 cmの楕円形の青色を呈する盤部の上に立つ帆部に風を受けて、海面を帆走する。熱帯~温帯の海域に広く分布し、日本では本州の主に太平洋側の砂浜で漂着が見られる(中西 1999, 並河・楚山 2000)。石狩湾沿岸ではこれまでに漂着記録は知られていなかったが、2010年秋に石狩湾奥部の石狩浜で初めて確認されたので、報告する。

### 漂着記録

2010年9月23日朝、石狩浜海水浴場の西方100~500mの砂浜(図1)を踏査中に、3個体のカツオノカンムリが漂着しているのを発見した。いずれも汀線直上で、乾燥・腐敗等はまったく見られない新鮮な状態であった(図2, 図3)。このとき踏査した500m区間内では、この他にコウイカ殻14個体をはじめ、中国製ペットボトル、韓国製漁具など、対馬暖流の強い影響を示唆する漂着物が多数確認された。また同日、この1kmほど南西の砂浜でも7個体の新鮮なカツオノカンムリの漂着が確認された。さらに翌24日にも、やはり海水浴場西方で1個体を発見したが、こちらは乾燥が進んでいることから、おそらく23日に漂着した個体群の1つと思われる。

石狩浜のこの区間では、著者がほぼ毎朝踏査を実施しているが、カツオノカンムリ漂着が発見されたのは初めてである。また、この2日間11個体の発見以後も、これまでのところ確認されていない。

11個体の盤部の長径は32mm~49mmであった。すべての個体で帆部の伸長方向は盤部の長径方向に対し、上面から見て左回転方向に20~30度の捻れを示している。

### 考察

熱帯~温帯に分布する海面浮遊性動物の漂着は、これまで石狩湾沿岸で確認されたのは2007年のギンカクラゲ *Porpita pacifica* (志賀ほか 2008) と浮遊性巻貝ルリガイ *Janthina prolongata* (鈴木・志賀 2008) のみである。今回の事例は、日本沿岸のカツオノカンムリの漂着としては最北の記録である。

9月23日は1日前から北西風(石狩浜では海から陸への風)が強まっており(気象庁ホームページ)、前述のように、カツオノカンムリの他にも暖流の影響を示す漂着物が多数確認されている。また、これに先立つ9月20日には、やはり石狩湾奥部の十線浜(石狩浜の5kmほど南西)で、熱帯~温帯の海域に生息する浮遊性頭足類のムラサキダコ *Tremoctopus violaceus gracialis* の漂着も確認されている(伊藤静孝, 私信)。これらのことから、2010年9月下旬は石狩湾周辺で暖流系漂着物が増加しやすい大気・海洋の状態であったことが推察される。

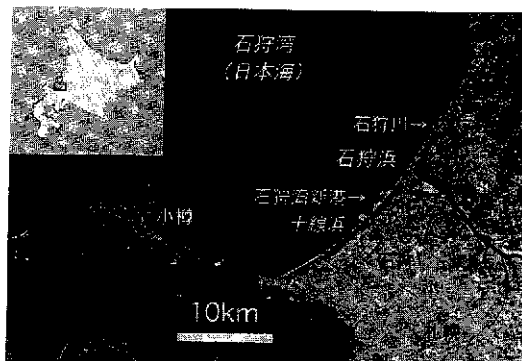


図1 石狩浜における漂着地点

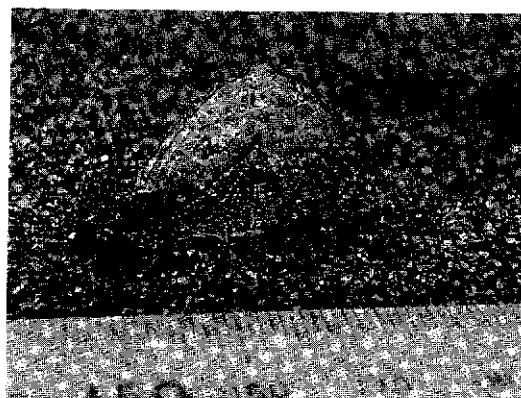


図2 カツオノカンムリの漂着状況



図3 漂着したカツオノカンムリのうちの3個体

暖流系漂着物の1種, アオイガイ *Argonauta argo* の石狩湾沿岸での漂着数は9月~10月の海面水温と相関関係にあることが示されている(志賀・伊藤 2011)が, 2010年の夏から秋にかけては, 石狩湾, さらには日本海全域で海面水温が平年よりも約2度も高く(気象庁ホームページ), 同年秋には著者らによってこれまでにはないほど大量の漂着アオイガイも確認されている。今回のカツオノカンムリの石狩湾への北上を始めとする暖流系漂着物の増加の背景には, その異常な高水温があったと考えられる。

謝辞: 調査にあたって, 札幌市の工藤友紀さんから情報を提供していただいた。感謝いたします。

#### 引用文献

- 気象庁ホームページ 気象統計情報. <http://www.jma.go.jp/menu/report.html>  
中西弘樹 1999. 漂着物学入門/黒潮のメッセージを読む. 211 pp. 平凡社, 東京.  
並河洋・楚山勇 2000. クラゲガイドブック. 118 pp. 阪急コミュニケーションズ, 東京.  
志賀健司・伊藤静孝 2011. 2005年~2009年の石狩湾沿岸におけるアオイガイ漂着. いしかり砂丘の風資料館紀要1: 13-19.  
志賀健司・中司光子・鈴木明彦 2008. 北海道におけるギンカクラゲの初漂着. どんぶらこ (26): 6.  
鈴木明彦・志賀健司 2008. 2007年秋における北海道石狩浜へのルリガイの漂着. ちりばたん 39: 22-24.  
(Received Oct. 20, 2011; accepted Oct. 30, 2011)

<sup>1</sup>〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4 いしかり砂丘の風資料館

<sup>1</sup>Ishikari Local Museum, 30-4, Benten-cho, Ishikari, Hokkaido 061-3372, Japan.